

新冠百話

第二十六話 「新冠場所の神社について」(要約文)

新冠にまつわるお話しを集めた

今回は、近世における新冠場所(または会所:江戸時代に松前藩が判官館の海岸に設置した交易や漁業の場所)での神社を中心としながら、明治以降の神社もあわせてふれていきます。

○弁天社
弁天は弁才天、弁財天とも書き、音楽、財福、知恵の徳がある天女とされています。当初は如来や菩薩の脇侍でしたが、財をもたらす商売繁盛の神として民衆に受け入れられていきました。また、七福神の紅一点として、漁業神としても厚く信仰されています。古文書を読み解くと、新冠場所に弁天社の建物があった様子がわかります。

○氷川神社
氷川神社の祭神は、須佐之男命(すさのおのみこと)です。旧武蔵の国、後の埼玉県大宮市(現さいたま市)にある氷川神社が総本社で、関東一円の守護神として厚く信仰されています。古文書から、文久元年(一八六一)に願主のニイカッフ詰の木城五右衛門、場所請負人の濱田屋佐次兵衛と支配人の作蔵が協議して氷川神社を勧請(かんじょう)し、神仏の分霊を迎えてまつる(こと)し、漁業安全の守護神としたことがわかっています。現在、北海道で氷川神社は新冠

の一社のみとなっております。

この二つの神社は、明治初めころまで、氷川神社と弁天社は判官館の会所付近に並んでいたと思われませんが、明治15年に氷川神社が現在地に移転した時には、弁天社はすでに失われていたようです。

明治時代以降の神社として、泉地区では明治42年に馬頭観世音(後に八幡神社と改称)をまつり、後に古川氏や我妻氏によって社殿を建立したことが記録に残されています。大正時代になると泊津山神社(大正2年)、節婦金刀比羅神社(大正5年)、節婦稲荷神社(大正15年)、東川稲荷神社(大正4年)、比宇神社(大正10年)が建立され、戦後入植とともに大狩部神社(昭和21年)、太陽神社(昭和23年)、緑丘神社(昭和24年)、芽呂神社(昭和25年)、東川八幡神社(昭和28年)など各地域に建立されました。

北海道の開拓において、入植してきた人たちは神社を建立し、過酷な自然に対して、健康をはじめ、農業や漁業の豊作、豊漁を祈願していたことが想像できます。地域によって祭る神様の違いも見ることができ、それは移住してきた人たちの故郷やその地域の土地柄が反映しているもので、先人の思いを感じることができると思います。



現在の氷川神社

秋の全国交通安全運動の実施

運動期間 ○9月21日(月)～9月30日(水)の10日間
運動重点 ○子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
○夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転防止
○高齢運転者等の安全運転の励行 静内警察署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期		
区分	火災件数	救急件数
7月	0件(0件)	20件(31件)
2年1～7月	0件(3件)	139件(190件)

交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
7月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
2年1～7月	1件(3件)	0人(0人)	1人(3人)

人のうごき

(7月末現在)

人口	5,413人	(前月比 - 11人)
男	2,653人	(前月比 - 4人)
女	2,760人	(前月比 - 7人)
世帯	2,750世帯	(前月比 - 8世帯)

町公式ホームページ 

町公式フェイスブック  

防災情報を発信します！

LINE 対応！

新冠町防災メール

を登録しよう！


津波情報


気象警報


避難情報

これまでは・・・

暴風雨により・・・

- 広報車や防災無線の音声がかえにくく、聞き逃してしまった



➔

これからは・・・

防災情報を文字でお知らせ

- 地震、津波等の防災情報を配信
- 大雨警報等の気象警報を配信
- 避難所開設、通行止め情報など
- その他、行政情報も配信予定

メール登録

登録方法は、お手持ちのスマートフォンや携帯電話から

t-niikappu-town@sg-p.jp

空メールを送信 送信後、案内メールが届きますので案内に従い登録してください。
届かない場合は「@sg-p.jp」からのメールを受信できるようメールの設定変更が必要です

PC・スマートフォンは
こちらのQRコード ➔



フィーチャーフォン
(ガラケー)は
こちらのQRコード ➔



LINE登録

登録方法は、お手持ちのスマートフォンから

公式アカウント

「新冠町」

を友だち登録



はこちら



●問い合わせ先：総務課防災係 ☎ 0146・47・2111

広報にいかっぷ 2020.8 P13